

## 岐阜県高山市 (社)ふるさと体験飛騨高山

<http://www.furusato-takayadsma.jp>

### 問合せ先

窓口名：ふるさと体験 飛騨高山  
住所：岐阜県高山市丹生川町日面 73-1  
TEL：0577-68-3020 FAX：0577-68-3020  
E-mail：furusato@takayama.neo-gn.com

### アクセス

最寄りの都市：岐阜市  
集合場所：ウッドフォーラム飛騨駐車場  
車の場合：120分  
鉄道の場合：120分



### 受入概要

当地域は、「農業体験」、「自然体験」、「食文化体験」、「生活文化体験」、「環境活動体験」、「冬の体験」といった6つの分野において市内各地域のそれぞれの特色を活かした50種類以上の体験アクティビティを有し、各地域それぞれが受入れを行っていたが、現在は、地域間の連携を進めており、体験プログラムを拡充させていく中で、受入体制の充実・強化を図っている。一方、当地域は農山村地域ではあるものの、「飛騨高山」というネームブランドを確立している伝統文化エリアを有する市街地や3000m級の山岳が連なる北アルプスなども有しており、「古い町並」をはじめ高山陣屋、東山寺院群、朝市など歴史文化資源と、乗鞍スカイライン、乗鞍山麓五色ヶ原など自然資源とも組み合わせながら、多彩な農山村体験プログラムを提供することも可能である。

体験プログラムの企画・実施にあたっては、単に体験アクティビティ(いわゆる田植体験やわら細工など)を実施するのではなく、「ねらい」や「効果」を踏まえた教育プログラムとして位置づけながら取り組んでいる。そのため、体験アクティビティの指導者だけでなく、プログラムの全体管理ができる人材をできる限り配置して、質の高い体験プログラムの提供に心がけている。さらに、プログラムの実施にあたっては、リスクマネジメント管理による安心・安全な体験学習となるよう心掛けている。

### 受け入れ地域の特色

#### 自然・地理的な特色

広大な市域の約93%が山林で、管内には中部山岳国立公園と5つの県立自然公園が指定されている。市街地周辺ではナラ類を主とした落葉広葉樹の里山が広がり、郊外では標高が上がるにつれてブナやモミ類へと植生が大きく変化する。高原では白樺林や草原が広がり、3000m級の高山地帯には貴重な高山植物が多く生息している。こうした環境で動物類・鳥類・昆虫類など多様な生物が生息して豊かな自然環境を形成している。市街地から目前に眺望できる乗鞍岳や御岳なども少し足を延ばせば登山することができる。

また、本市は寒暖の差が大きい内陸性の気候と冬に雪が多い日本海側の気候を兼ね合わせた気候で、夏期は昼夜の寒暖の差を活かした高冷地野菜の栽培が盛んなほか、冬期は降雪を利用したスキーなどのウインタースポーツやかんじきハイキング、かまくらづくりなど冬ならではの体験活動も満喫できる。



北アルプス

#### 歴史・文化的な特色

国分寺をはじめとする古い寺院や歴史的建造物も多く、現在では木工を主とした工芸技術に飛騨の匠の技が脈々と受け継がれている。「古い町並」、東山寺院群、高山城跡など金森時代から天領時代(安土桃山時代～江戸時代)のまちづくりが現在に至るまで残っており、町全体が歴史を感じさせる空間となっている。また、自然の恵みをうまく利用してきた農村の生活・文化も市街地を囲む農山村地域で体験することができる。また、春と秋に開催される高山祭は全国的に有名であるが、旧町村地域の伝統的なまつりや行事なども数多く催されており、四季折々の伝統文化などに触れることができる。さらには、厳しい冬を克服するための合掌造り家屋や縄文時代の遺跡などにも触れることができる。

### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	ホテル・旅館	公設の宿泊体験施設	その他
軒数	3	3	1
最大宿泊可能人数	1300	120	150
料金	7000円～	3500円～	7000円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 森の手入れ、林業体験（所要時間 180 分・林業体験）

【期間】

5月中旬～11月上旬まで

【内容】

手入れの行き届いていない人工林で、下刈り作業や枝打ち、間伐作業を行う。小枝のフレームづくりとの組み合わせも可能である。

### 小枝のフレームづくり（所要時間 120 分・クラフト体験）

【期間】

5月中旬～11月上旬まで

【内容】

近くの里山で飾り付けの材料となる小枝、落ち葉、木の実などを拾いながら、野外で思いでの写真を飾る自分だけの写真フレームをつくる。林業体験との組み合わせも可能である。

### 薪割りと豆腐づくり（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

5月中旬～11月上旬まで

【内容】

薪を手斧で割りそれを燃料として火をおこす。大豆を石臼ですりつぶして処理し鍋で煮て豆腐に成型する。つくった豆腐はその場で試食する。

### もちつきと五平もちづくり（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

杵と臼でもちをつき、ついたもちを調理して試食する。五平もちのご飯をすりつぶして串に成型し、炭で火をおこして焼く。タレもあぶらえをすりつぶして地方独特のタレを自分でつくる。



林業体験

### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	○

## おすすめのモデルプラン

プラン名	先人の智恵と農山村の暮らし	実施時期	5月中旬～6月下旬まで
ねらい	都市地域と農山村地域の違いについて比較して考えることができる。また、自然は多くの生物が相互に関係しあって成り立っていることが理解でき、自然に対して好奇心をもつことができる。一連の体験でモノの作り方や苦労などの背景をある程度知ることができ、モノの大切さやありがたみに気づくことができる。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	入村式・田舎探検	受入農家、関係者との対面、オリエンテーション、周辺を散策してマップづくり。
	午後	田舎探検(続き)・食草採取	周辺に生育している食べられる草花などを採取して持ち帰り宿で試食する。
	宿泊	各地域の農家民宿	
2日目	午前	稲の育て方勉強会と田植作業	稲の栽培について室内で学んだあと、その過程の一つである田植作業を実際に体験する。機械による現在の田植作業も見学する。
	午後	わら草履づくり	稲わらを使って縄をつくることを体験し、わら草履づくりに挑戦する。
	宿泊	各地域の農家民宿	
3日目	午前	自然観察と山菜収穫・調理	近くの山で自然観察をしながら山菜の収穫を行う。収穫した山菜は宿で調理体験と試食。
	午後	野菜の定植作業	トマトやナスなどの野菜を畑に植える。畝たてやマルチ掛けなど植えるための準備作業も行う。
	宿泊	各地域の農家民宿	
4日目	午前	もちつきと五平もちづくり	臼と杵でもちつきを行い、できたもちで調理体験。五平もちはこの地域独特のタレもつくり、炭をおこして焼く。
	午後	草木染め	染色に使用される植物を野外で採取し、草木染めに挑戦する。
	宿泊	各地域の農家民宿	
5日目	午前	朝市・陣屋と古い町並み散策	案内人が同行し、適宜解説しながらゆっくり散策する。
	午後	退村式	体験したことのまとめ、受入農家や関係者との送別。

## 岐阜県郡上市 郡上・田舎の学校

<http://yamakawa.windsnet.ne.jp/>

### 問合せ先

窓口名：郡上八幡・山と川の学校  
住所：岐阜県郡上市八幡町初納 1542-1  
TEL：0575-62-3513 FAX：0575-62-3535  
E-mail：mishima@public-s.com

### アクセス

最寄りの都市：岐阜市  
集合場所：郡上市明宝地域振興事務所、白鳥地  
車の場合：60分  
鉄道の場合：—



## 受入概要

各構成団体は連携した体験プログラムを開発し、年間 30000 人を超える安全で安心な体験交流を実践してきた。インストラクターや民宿のおかみさん達と子ども達で創り上げた、数々の自然・食農体験交流活動等で生まれた相互の感動から「生きる力と命の大切さ」を、次代を担う子供たちに学んでもらうことに熱い志をもっている。

宿泊については、旅館業法で許可を受けた安全で安心な民宿等であり、各体験プログラムは、専門インストラクター配置し、安全面はもちろんのこと、精神を含めた教育的効果が十分得られますので、親子さんはもとより学校の期待に添えるものと確信している。

日本のど真ん中の農山村で、恵まれた地理的条件、自然・文化資源、各種の交流体験施設を最大限に活用して、都市との共生を目指しながら、「日本のふるさと」を実体験できる地域として、農林業体験のための地域連携を深め、安全で安心な体験交流活動の更なる充実を図り、組織一丸となって「子ども農山漁村交流プロジェクト」に取り組んでいる。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

標高 110m から 1,810m と高低差が大きく、長良川の源流部である北部は、標高 1,000m 程の高原地帯が広がっており、市内を縦断する長良川をはじめとして、吉田川等一級河川が 24 本あり、約 90% を占める山林と合わせて水と緑に恵まれている。また、農地が長良川沿いや山間地(標高 110~1000m) に点在している地域である。

### 歴史・文化的な特色

市内の各集落には、氏神様としての神社が存在し、国や県、市の指定無形民俗文化財になっている神事や神楽、農村歌舞伎等の祭礼が毎年とり行われている。歴史的な文化として、人々の根底にある白山信仰、水と城下町の郡上踊り、古今伝授の地、生誕の地といわれる円空仏等があり、旧町村毎に整備された民族・生活・歴史資料館や博物館等を中心に、展示紹介と伝承活動が進められている。

また、川の文化として、かつて職漁師が存在していた鮎やあまご釣りが今も盛んで、川魚の料理や水産加工の食文化も伝承され、学術的にも貴重で、国天然記念物で生きた化石と言われる「オオサンショウウオ」の生息地として指定されている河川も有している。



川遊び

### 農林水産業の特色

豊かな清流、冷涼な気象条件、昼夜の寒暖差を活かした高原野菜から、米、乳牛、和牛、果樹、花、茶等の産地が形成され、山菜、鮎・あまごの川魚とあわせて、多彩で、食味が良い農林水産物が生産されている。山林面積が 90% を占め、木材生産から建築・木工芸等の林業関連産業が発展しており野生鳥獣の狩猟も行われている。自然の恵みと伝承の技から生まれる漬け物、味噌、豆腐、干し柿、こんにゃく、そば打ち山菜・木の実のあく抜き等、伝統的な食農文化が受け継がれており、市内には朝市・直売所が 21 箇所設置され、農村女性の 8 グループが加工直売店等を経営している。野菜等の栽培から直売・加工・販売まで手掛け、見学から体験交流を実践している団体も多数存在する。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公的宿泊施設	民間宿泊施設
軒数	18	1	73
最大宿泊可能人数	535	54	400
料金	—円	—円	—円

## おすすめ体験学習プログラム

### 野菜の栽培・収穫（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

4月下旬～11月下旬まで

【内容】

春・夏・秋野菜の種まき等の栽培体験と各野菜の収穫する畑を鍬で耕す事、土や道具や生き物に触れながら野菜を作る苦労や楽しさが体験する

「きゅうり」や「トマト」等の野菜を畑でとって、採れたての新鮮野菜を味わう



野菜の収穫

### 炭焼き（所要時間 300 分・林業体験）

【期間】

5月中旬～10月中旬まで

【内容】

オイル缶での窯作成の後、炭焼き体験を行い、炭の焼き方、昔の山の暮らし、炭の利用を学ぶ。

### 伝統漁法で魚捕り（所要時間 60 分・自然・環境体験）

【期間】

6月中旬～9月下旬まで

【内容】

川の底にいる魚『カワヨシノボリ』（通称チチコ）を郡上で伝わる伝統漁法『伏せ網』を使い、魚捕りを実施する。川底を水中メガネで覗き、いたら伏せ網を使い、網を伏せて捕る。

### トマトケチャップづくり（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

12月上旬～2月上旬まで

【内容】

地元の女性の指導の元、トマトケチャップを作り、試食会を行う。地場産業の発掘の聞きながらインストラクターと一緒にトマトケチャップを作る。

### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	-	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	収穫の秋と森の探検	実施時期	9月上旬～11月下旬まで
ねらい	森に身をおき、自然の中で思いっきり遊ぶ感触を提供し、自然素材を使ったクラフトをして、自然の情景物の美しさに気づいてもらう。また、野菜の収穫・調理を通して、食べ物の大切さを学び、農家などの児童以外の世代との交流を通じて、農業や食料の大切さや農村地域の役割や課題について体感する。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	オリエンテーション	スタッフの紹介、体験プログラム説明、地域の紹介、秋の農業についてのお話。
	午後	森に行こう基地を作ろう！・ロープを使った木登り体験	紅葉の森に入り、どんな基地を作るかグループで話し合い、アイデアいっぱいの基地を作る。基地のそばの木にロープをかけて、安全木登り体験を行う。
	宿泊	農家民宿等	
2日目	午前	お米に関する教室、稲刈り体験・モミ付きお米で作ろう！ポップライス	農家によるお米の作り方についての教室。鎌をもって稲刈りの体験と大型コンバインによる実演。午前に稲刈りした稲穂から中身の詰まったモミを取り、ポップコーンを作る要領で炒ると、おいしいポップライスを作る。
	午後	餅つき体験	みんなでお餅をつき、その中に、大豆やキビ、タカキビ、ヨモギなどを入れて、カラフルなお餅を作る。
	宿泊	農家民宿等	
3日目	午前	木の実拾いの森の散策	山の中の道を散策して、ドングリや松ぼっくり、いろいろな木の実を集める。
	午後	木の実を使って森の写真立てを作ろう！森の時計	拾ってきた木の実と小枝を使って、写真立てや森の木や間伐材の自然素材を使い、掛け時計を作る。
	宿泊	農家民宿等	
4日目	午前	畑に行こう収穫体験！	里芋、サツマイモなどの収穫体験を行う。
	午後	みんなで作ろう芋煮鍋＆モミガラ煙突で焼き芋体験	里芋を使った芋煮鍋。サツマイモをモミガラ煙突の中で焼き芋にするなどの体験をする。
	宿泊	農家民宿等	
5日目	午前	弓矢、ぱちんこ、竹鉄砲！作って遊ぼう里の秋！①・森からの手紙を書こう	自然の素材を使って弓矢、ぱちんこ、竹鉄砲を作る。最後に、この1週間を振り返り、自分宛ての手紙を書く。（1ヶ月後に届く）
	午後	お別れ会	宿泊施設の掃除・お世話になった方への挨拶

## 愛知県豊田市 とよた都市農山村交流ネットワーク

<http://www.toyotasanson.net/>

### 問合せ先

窓口名：トヨタトシノウサンソンコウリュウネットワーク

住所：愛知県豊田市桑田和町日面71-1

TEL：0565-62-4011 FAX：0565-62-4011

E-mail：sigekayo@juno.ocn.ne.jp

### アクセス

最寄りの都市：名古屋市

集合場所：豊田市役所小原支所・旭支所・稲武支所・足助支所・  
下山支所など

車の場合：120分 鉄道の場合：—



### 受入概要

協議会を設立時、中心になったのは、自らが暮らす農山村をとっても愛し誇りとしており、志の高い「田舎」に人々であった。都市と農山村交流事業、5地域代表が集まって話し合った幹事会、農家力アップ連帯力アップを目指した研修会、ホームページや通信による情報発信、都市部住民を農山村の仲間にする「山里学校」。ほぼどれもが毎月開催されました。豊田市農山村部5地域を横断するネットワークの絆と信頼感は確実に高まっています。「とよた都市農山村交流ネットワーク」の会員である農山村部住民は農山村を愛し、農山村に誇りを持ち、農山村のよさを熟知し、農山村での暮らしこそが人間らしい暮らしであることを自覚しています。だからこそ、会員のみなさんは農山村各地域の振興のまさに「原動力」ともなっています。交流事業、農山村振興、定住対策、都市と農山村の共生、子どもの健全な育成、安心安全な暮らしと持続可能な社会の創出を一体のものとして取り組んでいます。

### 受け入れ地域の特徴

#### 自然・地理的な特色

豊かな水を育む森林が市域の7割を占め、愛知高原国定公園および天竜奥三河国定公園の区域に属し、香嵐渓、旭高原、四季桜、ふじの回廊、奥矢作湖、三河湖、面ノ木原生林、王滝渓谷などの美しい景観や豊かな自然に恵まれている。市街地に近い豊田市自然観察の森から稲武地区のどんぐりの湯付近まではスギ・ヒノキの人工林とコナラ・アベマキの二次林に混じって、神社林を中心とところどころツブラジイ林やシラカシ林など照葉樹林を、標高の高い稲武地域の面ノ木峠や足助地区に隣接する設楽町の段度裏谷などではブナやミズナラを中心とした落葉広葉樹林が見ることができる。

#### 歴史・文化的な特色

美しい景観や豊かな自然に加え、松平郷、棒の手、小原和紙、三州足助屋敷などの歴史的・文化的な地域資源や伝統行事などが豊富にあり、とりわけ小原・旭・稲武・足助・下山地区などの中山間地では、集落ごとに季節や農事に合わせた伝統的な祭りが続いており、地域のコミュニティの中心になっている。

#### 農林水産業の特色

農家戸数は約7,800戸、経営耕地面積は約3,200ha、農業産出額は約115億円で、近年減少傾向にあるものの、愛知県下では上位に位置しており、米、野菜、果樹、花きなどを中心に農業が盛んである。一方、森林は約63,000haのうち、民有林では57%の35,000haが人工林で、全国平均の46%を上回っている。木材価格の低迷などによって林業経営環境が悪化する中で、林業従事者は減少傾向にあり、約200人ほどとなっている。小原・旭・稲武・足助・下山地区など中山間地では自給的な農家が多く、米をはじめ野菜など自家用の多彩な作物を栽培しており、また、たけのこや山野草などゆたかな里山の四季折々の恵みを有している。



### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公的宿泊施設	民間宿泊施設
軒数	20	1	2
最大宿泊可能人数	80	500	75
料金	5000円～	3000円～	7000円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 稲作体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

5月中旬～9月下旬まで

【内容】

我が国の農業の基幹である稲作を学ぶために、その生産方法と田植えによる体験学習を行う。体験はあえて、手植えにすることで稲作の環境を体感し、また、昔の生産者の苦勞を一端を学ぶ機会にする。「きゅうり」や「トマト」等の野菜を畑でとって、採れたての新鮮野菜を味わう

### 人工林の保全活動（所要時間 180 分・林業体験）

【期間】

通年

【内容】

人工林において「森の健康診断」を行い、間伐を体験する

### 里山の自然観察（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

〇〇地域の里山に入り、全国の中での里山の生育の特徴や動植物の生態等の豊田市農山村地域の自然環境の一端を学ぶことや、森林資源の働きや自然災害の防止の必要性を学ぶことができる。

### 団体での調理体験（所要時間 240 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

地域の食材を自ら採取し、児童が共同で、日常的な食事作りを行う。



クラフト体験

### 親しい人への手紙づくり（所要時間 180 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

農山村での宿泊体験活動を通じて、感じたことや学んだことを親しい人に向けて書いて伝えられるように、整理して、文章に表現した手紙を作成する

### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	農山漁村交流・体感プログラム	実施時期	通年
ねらい	児童が豊田市の小原・旭・稲武・足助・下山地域の特色である自然・農林業を体験し、チャレンジするとともに、農林家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	
	午後	入村式	挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換
2日目	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす
	午前	里山の散策（全児童参加）とネイチャークラフト	インストラクターの指導による里山散策を行う。里山で採取した素材で工作を行う。
	午後	農林家の生活体験（班別活動）	対面式：挨拶・自己紹介。農林家の生活を体験する
	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす
3日目	午前	田畑での農体験（班別行動）	当該地域の農作業の解説と参加児童で農作業体験を行う。田んぼ周辺の動植物の生態観察。
	午後	農林家の生活体験（班別活動）	夕食の食材を調達し、農林家との夕食づくり体験
	宿泊	農山漁家民泊、農山漁家民宿	農林家泊のご家庭と夕食
4日目	午前	農林家の生活体験（班別活動）	朝食・片付け・清掃活動 農林家の生活体験。農林家へのお礼の方法の検討。
	午後	宿泊体験活動のまとめ（地域関係者のサポート付）	班別に、農林家泊での学習の成果の取りまとめを行う。また、保護者宛の宿泊体験の感想を手紙にする
	宿泊	農山漁家民泊、農山漁家民宿	農林家泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食
5日目	午前	片付けとお別れ会	朝食・片付け・清掃活動
	午後	学校まで移動	児童による受入関係者に向けたお別れ会

## 三重県鳥羽市 島の旅社推進協議会

<http://shima-tabi.net/>

### 問合せ先

窓口名：島の旅社推進協議会  
住所：三重県鳥羽市桃取町 263  
TEL：0599-37-3339 FAX：0599-37-3344  
E-mail：1info@shima-tabi.net

### アクセス

最寄りの都市：三重県津市、名古屋  
集合場所：和具港または答志港  
車の場合：90分、150分  
鉄道の場合：60分、110分



### 受入概要

厳しい離島での生活に耐えるための生活習慣、住民間の思いやりが今も息づいており日本古来の良さが学べる。離島である条件を生かし、島文化を学びながら海に関係した体験学習を行うことによって、漁師さんの苦勞、楽しみ、食の流通、加工を知り自然の恵みへの感謝の気持ちを育てることが出来る。環境問題が重視される今、川上と川下の関係を理解し、山林の乱伐や放置が土砂災害を招きそれによる海洋汚染、流木ゴミによる被害の大変さを学び、また海女漁の厳しい委乱獲防止制度による資源保護等も学ぶ。

鳥羽佐田浜港から、桃取港へは約10分、和具港20分、答志港35分で市営定期船が運航しており、また民間船での対応も可能である。答志島への航路は台風時以外ではほとんど欠航はなく安定している。万一答志・和具港が欠航の場合は桃取港より、民宿のワンボックスカーにて旅館組合が協力し、宿までの輸送を行う。

### 受け入れ地域の特徴

#### 自然・地理的な特色

木曾三川の流れを受ける位置にあり、流れ来る肥沃な水は多くのプランクトンを育て、小魚を養い、次々に大型の魚を育てる格好の漁場は、水揚げ高は志摩地域でもトップクラスである。また魚類以外では海苔、わかめの養殖が盛んである。海岸では海に住む生物の磯観察が楽しめる。今もアワビ、ウニを取る海女漁を行っており、直接海女さん話を聞く貴重な体験をすることも出来る。和具地区における塩わかめ作りは、岸壁にて何十もの釜でゆでられ、鮮やかなグリーンに変色する様子は、湯煙と同時に磯の香りが立ち込め、日本の香り百選にも選ばれている。



#### 歴史・文化的な特色

**寝屋子制度** 15歳になると5・6人の男子が食事以外は寝屋で過ごし、共に寝屋子となった若い衆は生涯義兄弟の縁を結び、寝屋親は第二の親となり冠婚葬祭はもとより、強い絆で結ばれる。九鬼水郡の緊急時の早く人を集める目的から出来たとも言われている。神祭毎年旧暦の1月15日から17日にかけて漁協30歳から40歳の男性から7人が選ばれ、3・4日みそぎで身を清め、弓引神事が執り行われる。**海女文化** 答志島には古くから海女文化が有り、現在も180名ほどの海女さんがおり、主にアワビ、サザエ、ウニ、ナマコを獲っている。海女漁は乱獲をしない自然環境保全の最たる漁でもある。

#### 農林水産業の特色

漁業は、伊勢湾、伊勢湾口を漁場とした沿岸漁業が営まれている。漁船漁業は一本釣り、刺網、船びき網、海女漁業などが営まれ、マダイ、スズキ、イセエビなどの高級魚や、イワシ、イカナゴなど多種多様な魚類が漁獲され、鳥羽市内の年間漁獲量全体の内、約60%が水揚げされている。海女漁業が盛んで、夏季はアワビ、イワガキ、ウニが漁獲され、冬季はナマコ、サザエなどを漁獲している。養殖漁業は、黒のり、若布、かき、魚類養殖が営まれている。

### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	ホテル・旅館
軒数	21	21
最大宿泊可能人数	—	914
料金	一円	8000円

## おすすめ体験学習プログラム

### カゴ網漁体験（所要時間 60 分・漁業体験）

【期間】

5月中旬～10月中旬まで

【内容】

漁師さんがじっさいの漁で使うカゴと言われる漁具を使い漁を行う。仕掛けから収穫までを一晩かけて行う。主にタコやカニ、根魚を堤防から投入して仕掛ける。



### 路地裏スタンプラリー（所要時間 60 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

答志島特有の狭い路地を指令所にに基づき探検する。ポイントに問題が設置されており、島民と会話しながらその回答を導く。



### シークラフト（所要時間 90 分・クラフト体験）

【期間】

—

【内容】

漂着ごみが及ぼす島への影響や清掃活動について説明し、海岸に流れ着いた流木や海藻を利用し、自分オリジナルの作を作る。そして、ごみへの意識を高めていく。

### トコロ天作り（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

海女さんが採ってきた天草を材料にトコロ天作りを楽しむ

#### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料留意
-	-	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	離島で漁師体験	実施時期	4月下旬～10月下旬まで
ねらい	島のおじいさん、おばあさんがいつまでも現役で漁師や海女でいること、繁忙期には家族が力を合わせて漁師の仕事をしていることなど、寝屋子という漁村ではこの地域しか残っていない文化にも触れる。島は人と人との助け合いで成り立っている、つまりここから協調性を学ぶことができる。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	入島式	オリエンテーション（島についての概要）
	午後	路地裏スタンプラリー	狭い路地に設置したポイントまでの道筋を島人に聞いて探す。ポイントには島のクイズを設置
2日目	宿泊	民間宿泊施設	島の「方言」調査→最終日で発表 団体生活を通し、規則正しい生活を過ごす
	午前	漁師体験（基礎編）	漁師の基本、係留や救助に役立つロープワークを学ぶ。
3日目	午後	漁師体験（準備編）	かご網やタコ壺など漁具や漁法についての説明。海へ出て仕掛け作業を手伝う。片付け
	宿泊	民間宿泊施設	男子は寝屋子の体験をしに行く、女子は島の料理独特の料理を習う。
4日目	午前	漁師体験（実践編）	山の中の道を散策して、ドングリや松ぼっくり、いろいろな木の実を集める。
	午後	調理体験	海へ出て仕掛けを上げる収穫作業
5日目	宿泊	民間宿泊施設	団体生活を通し規則正しい生活を過ごす
	午前	無人島磯観察、エコ活動	無人島にあり、大潮の干潮時のみ広がる磯場を利用し、潮時や磯場に住む生き物を観察する。
5日目	午後	クラフト体験	海岸で貝殻などを拾いながらゴミ収集する。貝殻を使ったクラフト体験（持ち帰り可能）、ゴミや貝の打楽器演奏。
	宿泊	民間宿泊施設	貝に家族へのメッセージ、島への感想文
5日目	午前	片付けとお別れ会	片付け、清掃
	午後	学校までの移動	島への感想文、方言発表会。お別れ会

## 三重県大台町 大台町子どもプロジェクト推進協議会

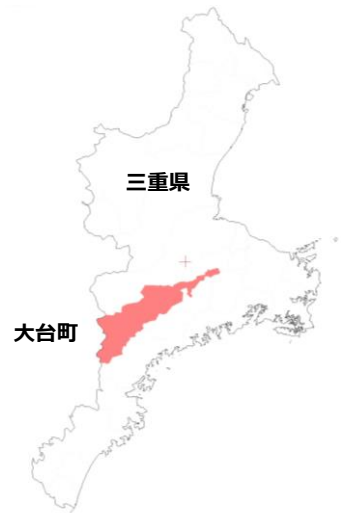
<http://osugidani.jp/>

### 問合せ先

窓口名：NPO 法人 大杉谷自然学校  
住所：三重県大台町久豆 199  
TEL：0598-78-8888 FAX：0598-78-8889  
E-mail：onishika@ma.mctv.ne.jp

### アクセス

最寄りの都市：津、名古屋  
集合場所：大杉谷地域総合センター  
車の場合：110分、165分  
鉄道の場合：110分、165分



### 受入概要

本協議会は児童をはじめ、生徒、各種学生や一般、企業等を大台町内に迎え、地域社会について体験、熟考する機会を提供するために設置した地域交流の窓口である。役割は地域の教育力を生かした体験プログラムの開発及び交流・定住人口増加のための手法を研究し、大台町各団体・組織を地域教育の場として社会還元する仕組みを作り活用することである。

山村に残る暮らしの知恵や林業・農業の現状を学べる体験拠点として、多くの子どもたちに学習の機会を提供したいと考えている。特に子どもたちが学校外で得られる体験や知識を最大限に学べるよう、また日本の地域社会の現状を少しでも知り、自分たちが住む地域のことについても考えを深められるよう体験を組み立てたい。地域で勉強会を実施し、地域が持つ技術や知識が子どもたちにどのような効果を持つのかを確認し、それを上手く伝えられる方法についてのガイドラインを準備する。そして、特に子どもたちと接する時の子どもの心のケアについても細心の注意を払えるよう勉強会も予定している。

### 受け入れ地域の特徴

#### 自然・地理的な特色

町の一部が吉野熊野国立公園、全部が奥伊勢宮川峡県立自然公園に指定されており、豊かな自然資源を持つ。特に町の面積の9割強を占める森林と、森林が育む清らかな水が有名な町である。町の中央を流れる一級河川・宮川は、これまで国土交通省が選ぶ「清流日本一」に何度も選ばれている。平成16年9月の集中豪雨では甚大な被害を受け、現在復旧中の箇所が支流及びその周辺の山林に広がっている。

#### 歴史・文化的な特色

大台町は国指定の天然記念物を含む文化財が点在する他、世界遺産・熊野古道につながる「熊野古道・伊勢路」が現存している。他にも伊勢神宮の御用材を搬出していたという林業についての古い歴史が残る。また、地域住民の生活の中には高度成長期以前の循環型生活が現存している。

#### 農林水産業の特色

##### <林業>

町内の山林面積は、町の総面積の93%を占めている。以前は林業が主幹産業だったが、近年は林業の採算性の悪化に伴う林業生産活動の低下や森林管理の担い手である林業従事者の減少及び高齢化などが大きな問題となっている。このような状況の中、森林・林業に対する新しい施策が導入され、林業従事者の増加や人工林の適正管理のための政策等が積極的に実施されている。

##### <農業>

一戸当たりの平均耕作面積は、0.14haと経営規模が零細で、6割以上が兼業農家で占められている。農業就労者の高齢化や後継者不足及び獣害が起因となり、耕作放棄地が増加している。町内の特産品は茶であるがふき、しいたけ、イチゴなども栽培されている。

#### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民宿	公的宿泊施設
軒数	9	2
最大宿泊可能人数	60	180
料金	6000円～	3500円～

## おすすめ体験学習プログラム

### 伝統漁法しゃくり体験（所要時間一分・漁業体験）

【期間】

6月上旬～9月中旬まで

【内容】

宮川に伝わる鮎の漁法“しゃくり”を体験し、鮎の生態を理解しつくした漁法について学ぶ。

### 森林散策（所要時間 120 分・林業体験）

【期間】

通年

【内容】

森林内をインストラクターの案内で散策し、森林生態系・林業における地域性及び歴史・自然の中の音・体を動かす時の注意・安全管理等を説明し、ゲーム形式で山林に親しむ活動や事前学習などを行う。



伝統漁法の体験

### スライドショー（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

山や川、地域の様子などを学校の設定テーマ（生態系、動物、林業等）にあわせて、写真により紹介する。また、テーマにあわせた活動を組み合わせ子どもたちが聞きっぱなしにならないよう配慮する。

### 雨天時室内代替プログラム

（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

林業体験及び伝統漁法の体験が雨天中止になった場合、体育館にて体を動かす学習ゲームにより、林業や河川について学べるように工夫をする。また、木材や木、魚等実際のものを準備し、子どもたちが実体験できるよう工夫する。

### 聞き取り調査（所要時間 60 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

林業についてや地域の暮らしについてのことを林家や地域の方から聞き取りを行う。

### 受入時の安全対策

学校関係者向けカ イドライン作成	受入地域内関係者の ガイドライン作成	他安全対策資料用 意
-	○	-

## おすすめのモデルプラン

プラン名	大台町内林業体験プログラム	実施時期	6月中旬～9月下旬まで
ねらい	児童が、大杉谷地域の特色ある自然・林業を体感し、チャレンジするとともに、林家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則が正しい生活を行うことで、人間らしく判断し、行動していける“生きる力”を培う。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地までの移動	挨拶・スタッフ自己紹介、昼食
	午後	オリエンテーション	全体のプログラムの説明や班とスタッフの信頼感を高める活動・事前学習の状況把握
2日目	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす
	午前	森林の散策と森林の学習	インストラクターの指導による森林体験学習を行う（天候不良の場合、屋内メニューを提供）
	午後	林家の生活体験（班別活動）	対面式：各林家泊先と対面し、自己紹介をする。 各林家による生活体験
3日目	宿泊	林家民泊	夕食後、生活体験の感想を語り合う
	午前	林業体験（グループ活動）	グループで林業体験を行う。森林内の生態観察（天候不良の場合、屋内メニューを提供）
	午後	林家の生活体験（班別活動）	各林家周辺での聞き取り調査 各林家による生活体験
4日目	宿泊	林家民泊	夕食後、生活体験の感想を語り合う
	午前	林家とのお別れ（班別活動）	清掃活動、林家とのお別れ会
	午後	林業体験のまとめ	林業についての学習 地元さん木材を使った思い出クラフト作り
5日目	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす
	午前	清掃活動	片付け・清掃活動 感想文の作成（保護者向け）
	午後	学校まで移動	

## 三重県紀北町 きほくふるさと体験塾

<http://www.kihoku-kanko.com/>

### 問合せ先

窓口名：紀北町観光協会  
住所：三重県紀北町紀伊長島区東長島 2410-73  
TEL：05974-6-3555 FAX：05974-6-3556  
E-mail：info@kihoku-kanko.com

### アクセス

最寄りの都市：津市、名古屋市  
集合場所：ふれあい広場マンドロ駐車場  
車の場合：70分、130分  
鉄道の場合：70分、120分



### 受入概要

紀北町は海・山・川の自然フィールドがすべてそろった風光明媚な地域であり、それに伴い第一次産業が盛んに行われてきた。そのため現在でも様々な農林漁業の体験が可能であり、また自然を活かした遊びを通して体験学習を行うことができる。実際に土や水、木、そこに生きる色々な生き物、植物に「出会い」触れることで、普段の生活では絶対に味わうことのできない「感動」を受けるとともに、自然と共に生き、愛し、大切にしていかなければならないと「気付く」お手伝いする。

「地域の人々との出会いや交流」のテーマを最重視して体験学習に取り組むことで、「ただいま」「おかえり」の聲が響き何度も訪れたいような「第2のふるさと」として心に残る体験とし、長期間の宿泊や様々な体験を通して、協調性や連帯意識を育むとともに、学校では得ることのできない知識や技能に直接触れ、自ら創意工夫するなどの個性豊かな成長が図れるような体験学習メニューを実施している。

### 受け入れ地域の特徴

#### 自然・地理的な特色

海・山・川とアウトドアを体験・体感するには三拍子そろった環境にあり、また、豊かな地域資源を使った地場製品の加工体験などの行うことができる。海では、きれいな海での海水浴を始め、磯遊び・釣り・ビーチコーミングなどが楽しめる。山は、世界遺産にも登録された熊野古道の峠が5つあり、さらに、山頂に象の背のような巨石のある便石山や温暖な地域において極めてめずらしい、滝（清五郎滝）の氷瀑を見ることができ、川は透明度が驚くほど高い銚子川・船津川があり、川遊びや環境学習などを行うことができる。



#### 歴史・文化的な特色

町内には平成16年7月7日に世界遺産登録された「熊野古道」のうち5つの峠道が残されており、各峠の特色を楽しみながら、江戸時代の旅人と同じ道を歩き残された遺跡や自然にふれることができる。また、国・県・町が指定した貴重な文化財が88あり、学術研究の上からも優れた文化財も多く存在しており、地域の生活と密接にかかわりを持った、古くからの祭りや伝統行事が数多く存在し、その多くを体感することができる。

#### 農林水産業の特色

農業では急峻な山々からの豊富な水源を活用し、水稻栽培が多く行われ、また黒潮の影響により温暖な地域であるため、みかん、いちごなどの農産物や、草花の栽培なども行われている。林業では尾鷲ひのきの植林が多くみられ、特に日本で第1号のFSC認証を受けた世界一といわれる尾鷲ひのきの森があり、環境に配慮した森林育成サイクルを行う。眼前の熊野灘では漁業が盛んであり、実際に様々な魚介類に出会いふれることができる。

また全長わずか15kmの銚子川は、源流が近く人家が少ないため、すばらしい透明度を誇っており、清流銚子川として親しまれ様々な自然体験、環境学習が可能である。

漁業が盛んであるため、魚介類を使った加工、製造業が多くあり、朝採れたばかりの魚で作る干物や、かまぼこの生産が行われており、町内には漁業の成功を祈念する祭りがいくつも残されており、勇壮な山車や踊りを見ることができる。

### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公的宿泊施設	その他
軒数	8	1	1
最大宿泊可能人数	300	40	48
料金	6300円～	2600円～	12000～36000円

## おすすめ体験学習プログラム

### 世界遺産熊野古道体験(所要時間 180分・自然・環境体験)

【期間】

通年

【内容】

町内には5つの世界遺産の熊野古道があるため、各峠の文化、歴史の説明を受けながら、実際に江戸時代の旅人が歩いた道を歩き、当時の生活や地域に残る歴史、文化、自然を学ぶ。

### 自然のタイドプール体験(所要時間 180分・漁業体験)

【期間】

3月上旬～10月下旬まで

【内容】

干潮で潮が引いたあとの自然のタイドプールを利用して磯に入り、様々な海の生物と出会い触れ合うことで、環境や生命に対する意識を培う。

### 自然災害学習プログラム(所要時間 90分・自然・環境体験)

【期間】

通年

【内容】

紀北町は平成16年9月29日に発生した大水害で甚大な被害を受けた経緯があり、当時の災害ボランティアによる救助や復興に係る話を、写真や経験談などをもとに聞くことで、自然の猛威や怖さ、普段からの備えや心構え等々を学び、自分達の生命や財産を守るための意識をもってもらおう。



クラフト体験

### 干物づくり体験(所要時間 60分・漁業体験)

【期間】

通年

【内容】

地元で獲れる新鮮な魚を使って、開きやみりん干しなどの様々な干物づくりを体験し、自分で作った干物を食べ自然の恵みを体感するとともに、安全安心な食に対する食育の意識を高める。

### 受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	○

## おすすめのモデルプラン

プラン名	きほくの生活	実施時期	4月上旬～6月下旬まで 9月下旬～10月中旬まで
ねらい	農家民宿やインストラクター等とのふれあいを通じて、自分にはない技術や知識を吸収して、人に魅力を感じたり尊敬する心に気付く。初めて体験する農業や漁業などの作業を通して、普段食べている食料の大切さや職業への新たな興味を持ってもらう。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	開校式	受入農家民宿との対面、自己紹介、オリエンテーション。
	午後	わらそうりづくり体験	わらそうりづくりを通して、昔の人の生活や現在の生活との違いを学ぶ。
	宿泊	農林漁家民宿	
2日目	午前	世界遺産熊野古道(ツツラト峠)体験	世界遺産に登録された熊野古道(ツツラト峠)を語り部の講義を聞きながら歩き、歴史と自然、紀北町を一望する絶景を体験する。
	午後	みかん狩り体験	みかん農家で授粉や収穫の作業を手伝いながら生育を学び、自分で採ったみかんを食べ農業に興味をもってもらおう。
	宿泊	農林漁家民宿	
3日目	午前	押し寿司づくり体験	地元の郷土料理を自分達の手で作って、地元の人々とふれあいながら食べることで、地域の文化や伝統を学ぶ。
	午後	牡蠣養殖体験 ①コレクターづくり ②本差し作業	牡蠣養殖の作業場で牡蠣の成育について学び、実際に作業を手伝って牡蠣養殖の大変さや楽しさを感じてもらおう。
	宿泊	公的宿泊施設	
4日目	午前	干物づくり体験	地元で獲れた新鮮な魚を使って、この地域の味付けを学びながら自分で干物を作る。作った干物を食べたりお土産として、紀北町の味の思い出とする。
	午後	炭焼き体験	炭焼きの工程を実際に見学し、窯入れや窯出しを体験することで、作業の大変さや慎重さを学ぶ。
	宿泊	公的宿泊施設	
5日目	午前	シーカヤック体験	シーカヤックの乗り方のレクチャーを受け、海の上を自由に動き回って島を回ったり海の生き物を観察して、自然の雄大さを感じる。
	午後	閉校式	受入農家民宿等とお別れ会。